

チームで協力

サッカーボウリング

[伊勢崎市立境剛志小学校の実践例]

○活動の概要

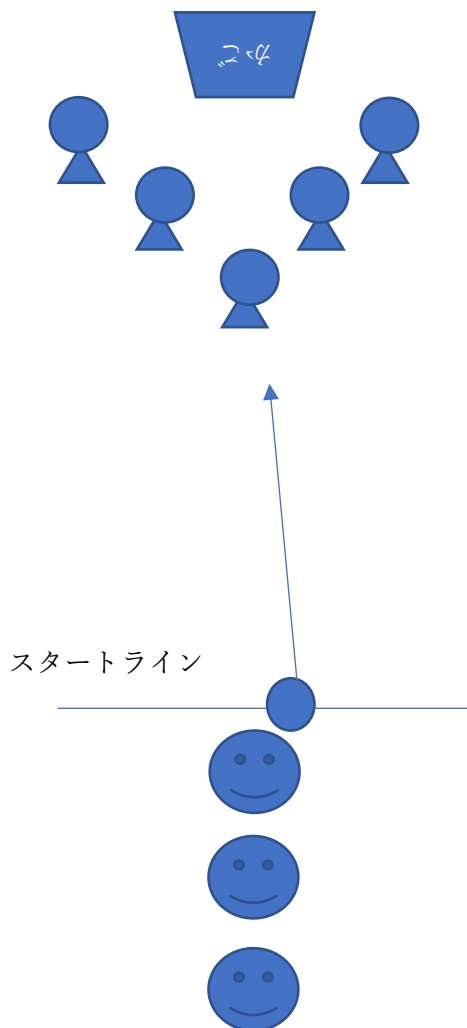
狙ったところに正確に蹴ることをねらいとしたゲームです。ボウリングの要領で、5つのボールに当てていきます。チーム対抗でおこない、いち早く全てのボールに当てたチームが勝利です。外したボールは自分で取りに行き、またなかなかピンに当たらないので結構な運動量になると思います。

本校では、球技「サッカー」の導入で取り入れました。同じ要領で、手で投げるなどし、体ほぐしの運動の活動としても行うことができると思います。

○準備

[用具] ピン用マーカー・サッカーボール 1チームに6個×チーム数
蹴る用サッカーボール 1個

○活動・取り組みの方法



[行い方]

- ・ 1チーム5～6人程度で、一人ずつ順番にリレー形式で蹴る。
- ・ ボウリングの要領で、マーカーの上に乗せたボールを狙って蹴る。
- ・ 蹴った児童がボールは、走って取りに行く。その際に、ドリブルで戻ってくる。
- ・ 当てたボールも走って回収し、手でかごに入れる。
- ・ いち早く、全てのボールを倒したチームの勝利となる。

※スタートラインからボールの距離は20m程度で行いました。
児童の実態によって、調節してみてください。